

社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

1996年(平成8年)6月5日

第23号

発行

社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより編集委員会

〒560 豊中市中校塚2-28-7

☎(848)1000



もしもし

お元気ですか

ひとり暮らしの
高齢者に友愛電話訪問事業

市社協登録ボランティアグループ「聴くの会」は65歳以上のひとり暮らし老人を対象に月一回程度の友愛電話訪問を実施しています。

毎週火曜日に午前午後2名ずつのボランティアがボランティアセンターから電話を希望されている方々にお電話します。

若き日の歴史、趣味の話等さまざま

ボランティアの仲間に定年後の男性の姿が近年目だってきました。

震災時の若者の情熱とは、ひと味違ったものがあります。

高度経済成長社会を支えてきたバイタリティ、仕事を通じての専門知識、長年の体験、広い視野での決断力、ゆとりある寛大なやさしい心で自発的にボランティアを学び仲間入りした方々です。

粗大ゴミだのぬれ落ち葉だのといわれがちですが、自由時間ができ、

まな話に耳を傾け、年月を経るうちに心が通じあって、教えていただくことも多々あります。

一本の電話から孤独死を防いだり、体調が悪くて困っていることがわかったりと近所付き合いの少ない今日、定期的な電話訪問の必要性が感じられます。(T、Y、)

声

趣味だけでは充実感が得られず、地域社会の活動の一つとしてボランティアを考えられた方。

自分も病院通いをしていていつ立場が変わるかわからない・・・だから今できることをしておこうという方もいらっしゃる。

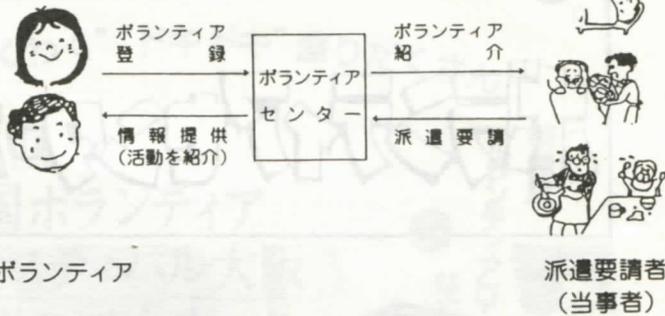
兎角、これまで女性に任せていた高齢者介護にも男性の力量が加わり、心強く、ありがたく期待しています。

(N、H、)

ボランティアセンターとは

豊中市社会福祉協議会ボランティアセンターは社会福祉問題に積極的に取り組もうとするボランティアの活動拠点であり、ボランティアを求める市民の窓口です。

市民だれもが、ボランティア活動に積極的に参加できるような条件整備を行っています。



センターはこんな悩みにお応えしています

ボランティアの経歴はなくても大丈夫？

⇒経歴は問いません。ボランティア講座などにも参加していただけます。

活動している人たちの年齢や職業は、どうかな？

⇒登録していただいている方は15歳から86歳まで、主婦や学生お勤めの方、定年後の方などさまざまです。

ボランティアの時間が時々しか取れないけれど無理かな？

⇒自分のペースで活動していただければ結構です。

ボランティアを通して友だちがたくさん出来るって聞いたけど？

⇒地域や年齢をこえたすてきな仲間に出会えます。一度のぞいてみて下さい。

有償と無償のボランティアがあるらしいけれど……？

⇒社協のボランティアは、基本的に無償となっています。

ボランティアについての不安や質問は、誰かに相談できるのから？

⇒センターには、ボランティアコーディネーターがいてあなたの相談にお答えします。

*詳しくはボランティアセンターに、直接お問合せ下さい。

☎(848)1000

福祉情報最前線

(財)豊中市 福祉公社設立

市は、4月1日からホームヘルパーの派遣などの在宅福祉サービスや人材養成、介護者の育成など高齢化社会に対応したサービスの提供を目指す「(財)豊中市福祉公社」を設立しました。

福祉公社は、高齢者や障害者の多様なニーズに応え、自立を支援する公益法人として設立されました。

基本財産の2億は市が負担し、ホームヘルプ事業を公社に委託します。

ホームヘルプサービスは、今秋からは祝日、年末年始を除く8時から20時まで利用時間を拡大し、サービスの拡充を図る予定です。

この他、基本的なサービスとして、保健・福祉の総合相談や情報提供、市民を対象とした介護技術講習会の開催や2級3級ヘルパー養成、福祉機器の貸出斡旋などをおこないます。

福祉公社 ☎(857)2014

登録ボランティアグループのご案内

豊中市社会福祉協議会ボランティアセンターには、ボランティアの登録制度があります。センターには地域からさまざまなボランティア派遣要請があり、それらの課題に登録ボランティアグループと個人登録ボランティアが活動しています。また、ボランティア登録していただきますと毎月ボランティア情報をお届けします。ぜひ、あなたも登録ボランティアとして組織的な活動に参加してください。

介護者援助グループ(手作り介護用品の製作を中心に)

◆グループ名 **小さな手**

◆グループの趣旨 豊中市老人介護者(家族)の会の方々の介護をサービスで支えていくために手作り介護用品を作る他、地区懇談会への参加等介護者の声を聞きながら活動しています。



◆定例会 第3木曜日・午後1時30分～3時30分

外出介助・送迎ボランティアグループ(車での送迎、車イス介助、通院介助など)

◆グループ名 **みちしるべ**

◆グループの趣旨 現在、老人や障害者から最もニーズの多い、在宅の課題をみんなで協力しながら進めています。



◆定例会 第4金曜日・午前10時～12時

友愛電話訪問ボランティアグループ

◆グループ名 **聴くの会**

◆グループの趣旨 市内のひとり暮らしのお年寄りて話し相手が欲しい方を対象に電話による友愛訪問を行っています。



◆活動日 毎週火曜日 午前10時～午後4時

◆定例会 第4木曜日・午前10時～12時

老人介護ボランティアグループ

◆グループ名 **ステッキ**

◆グループの趣旨 ねたきりや痴呆老人の介護者の杖のような支えになることを目的に誕生しました。話し相手などを行っています。



◆定例会 第3水曜日・午後1時30分～3時30分



家事援助ボランティアグループ

◆グループ名 **そよかせ**

◆グループの趣旨 難病や病気などで家事に困っている世帯を対象に買物などお手伝いや子育て支援を行なっています。



◆定例会 第3火曜日・午前10時～12時

ビデオ制作ボランティアグループ

◆グループ名 **ズームイン**

◆グループの趣旨 福祉の問題や福祉に関わる人を映像にして、ボランティア活動の啓発などを行っています。初心者も結構、みんなワイワイやっています。



◆定例会 第3金曜日・午前10時～12時

青少年ボランティアグループ

◆グループ名 **つぼみ**

◆グループの趣旨 高校生や大学生、または昼間お勤めの青少年を対象にしたグループです。若い感覚で身近にできることを考えていきます。



◆定例会 毎月20日・午後7時～9時

運転ボランティアグループ

◆グループ名 **豊中アツシー**

◆グループの趣旨 ねたきりのお年寄りや車イスをご利用の障害者の方々のためにリフト付自動車「ユューあい号」で通院等のお手伝いしています。



◆定例会 第3木曜日 午前10時～12時

歌体操ボランティアグループ

◆グループ名 **さわやか**

◆グループの趣旨 歌体操を通じてねたきりのお年寄りや障害者の方々の健康増進を図っています。



◆定例会 第2火曜日・午前10時～12時
第3水曜日・午前10時～12時

ほんとに知ってる NPO

■NPOとは？

Non-Profit Organization の略。「民間非営利団体」「民間公益組織」と訳されています。非営利(利潤追求・利益配分を行わないこと)と同時に、非政府である(政府機構の一部ではない)こと、自主的、自発的な活動を行うことなども意味されています。

★日本では、市民団体、ボランティア活動の推進団体、公益法人の一部などが該当しますが、導入されて間もない概念のため、実際はどこまでがNPOにあたるかなど、まだわが国では、その範囲が明確に合意されてはいません。

※『ボランティア新世紀』(第一法規)より出典

平成7年度 ボランティア需給調整報告 増える子育て支援のべ年間3624人が ボランティア活動に参加～

平成7年度もさまざまなボランティアの相談がボランティアセンターに寄せられ、市社協登録ボランティアグループをはじめとしてのべ3624人のボランティアの方が306件の世帯に1965回活動しました。

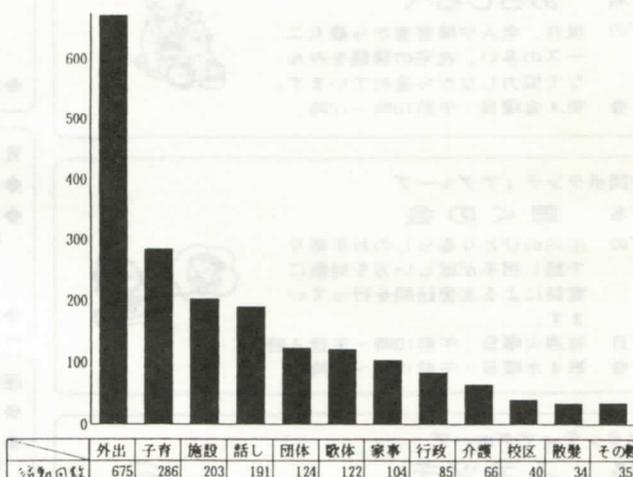


派遣内容は、高齢者障害者の外出介助で675回と最も多く、次が子育て支援286回、高齢障害者への話し相手191回、寝たきりの方々の散髪34回、高齢障害者世帯の家事援助104回、作業所施設支援203回、行政事業支援85回、当事者団体支援124回、歌体操122回、手作り介護用品66回、校区福祉委員支援40回、その他35回等となっている。

子育て支援が大変増えており、核家族化や転勤などで地域で孤立化

している母親のさまざまな子育てに関する悩みが深刻化しています。

また、高齢者障害者世帯の外出介助や話し相手では、市の制度と連携でネットワークとして支援している世帯も多く、行政での支援と社協のボランティアの協力で在宅生活を支えているケースが増えています。



ボランティアはいま

私が登録ボランティア「小さな手」のメンバーとしてはじめて、体の不自由な方のズボンを縫ったときは、本当に試行錯誤の繰返しでした。

でも出来上がったときの嬉しさと共にこれを着て下さる方を思い一針一針、力がこもりました。

体の状態に合わせて、排泄しやすい方法やデザインも考えながらまた、介護もしやすいように・・・と。

自分自身、体を動かすことができなくて困っている方のお役に立つこと。それが今の自分にとっての幸せ

だと感じています。

「小さな手」がいつしか介護者の「大きな手」としてお役に立てる日が来ることを願いつつ、メンバーで相談しながらどこにも売っていない介護用品をこしらえています。

高齢者が増える中で、自分もいつか人のお世話になるかも知れないことを思いつつ、今の健康に感謝して困っている人たちの味方になっていきたく感じています。(小さな手 谷川満智子)



まごころまで届いたと喜ばれている介護用品

広がる小地域福祉ネットワーク活動

個別生活支援件数 47件
見守りネット件数 441件
対応ボランティアは
総勢 2379名

モデル校区	
平成4年度	桜塚・南桜塚
5年度	原田・豊島
6年度	刀根山・中豊島
7年度	西丘・北丘・東豊台

豊中市内には、概ね小学校区を単位に校区福祉委員会が結成され、みんなが安心して暮らせる地域を築き上げるために活動しています。

さらに、校区福祉委員会での支え合いを広げるために校区単位でのボランティア育成や需給調整を実施し、小地域福祉ネットワーク事業を進めるために平成4年より校区ボランティア部会の育成を進めています。

- ◆主な活動内容 ディサービス、機能訓練等の送迎車までの送迎・配食
買物お手伝い・散歩介助・話し相手・見守り・通院介助

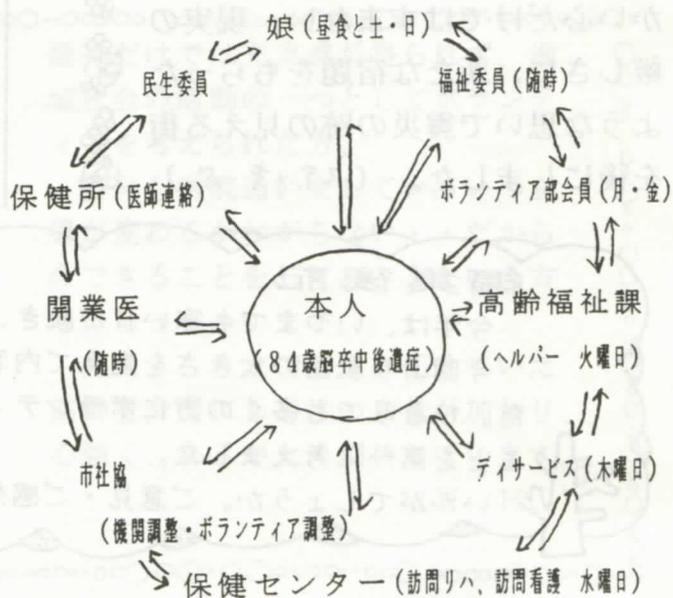


ニーズ把握に有効なおしゃべりサロン(東豊台) 養護学校の送迎バスから自宅までの送迎(原田)

<地域で老いを支える>

緊急時に発揮した小地域の見守り体制
Aさんは84歳。娘さんと二人暮らし。脳卒中で緊急入院し、娘は昼間、勤めているために退院後のケアに困っていましたが、たまたま退院が休日に当たり、即対応に困っていたところ、地域で日頃から顔見知りの校区福祉委員に相談し、見守りを快く引き受けてもらいました。

その後、担当地区の保健婦さんが訪問し、関係機関のネットワーク会議がもたれ、専門的なケアはヘルパーさん、散歩介助が校区ボランティア、介護面の指導は保健婦さんと理学療法士、そして週一回はディサービスの利用と分担して横の連携の中で見守りしながら支援しています。



ボランティアレポーター訪問記

個性を大切にした職員の対応と地域の中に開かれた施設として、見学希望の多かった尼崎喜楽苑へ行ってきました。

最初に職員の方から、特別養護老人ホーム全般についてと、喜楽苑の現状について説明を受けてから、館内を案内していただきました。

世話する人の都合で物事を運ばない。人生の大先輩として敬語で話かける。私物に囲まれての生活外出は出来るだけ自由に。等の実施に心掛けているという説明に、当たり前的事なのに現実にはなかなか難しく、私達の活動の心がまえをあらたにしました。

しかし、長い事住み慣れた地域の施設、何かと便利の良い都市の中の施設となると、敷地の問題で十分な広さの確保、明るい暖かな太陽の光、広がる視界を求めるのは非常に困難な事。熱意とあったかい心だけではすまない、現実の厳しさに、新たな宿題をもらったような思いで震災の跡の見える街を後にしました。(スティッキ ♪)

ボランティアのひろば

"わくわく" "ドキドキ" 盛りだくさん

第5回
全国ボランティア
フェスティバル大阪
開催のご案内

新発見
ボランティアロード
なごみくら

と き：平成8年9月21日(土) 22日(日)
ところ：大阪城ホール
大阪城公園 太陽の広場
大阪ビジネスパーク(OBP)ほか

青少年のための
サマ
ボランティアスクール

日程. 7/26(金) 29(月) 31(水) ... 8/29(木) 8/22(N)に実習説明会

8/1~26にかけて施設実習

場所. 豊中市立福祉会館 (阪急阿倍野駅下車 徒歩5分)

◆時間 pm.1:30~3:30 ◆定員 40名
◆対象 15歳~25歳(心身) ◆受講料 無料

お問合せ先 豊中市社会福祉協議会 06-841-9393 まで

編集後記

今年は、いつまでも寒い日が続き、体調を崩されている方も多いようです。今回より紙面の大きさを変えて内容もより身近なことを中心に掲載してみました。ひとりでも多くの方にボランティアに興味を持ってもらい、ご理解いただくことを第一に考えました。いかがでしょうか。ご意見・ご感想をどんどんお寄せ下さい。(T、H、)

